

職場体験レポート

【展示場所】1階 児童閲覧室

職場体験に参加された中学生・高校生に「おすすめの本」を紹介していただきました。



星の王子さま
サン・ラグジュベリ/著
953/サン
岩波書店

主人公の「私」がサハラ砂漠に不時着したとき、小さな星から来た王子さまと出会う。たった1週間の大切な思い出の話。この本は、作者の思いもつづられているので、生きること、戦争のことについて考えさせられます。また、王子さまのかわいらしい一面になごまされます。ぜひ読んでみてください。

がん征圧月間

【展示場所】1階 生活情報コーナー

9月は「がん征圧月間です」岐阜県公共図書館協議会では、県内図書館において共通テーマで資料展示を行います。

大垣市立図書館では、がんの正しい知識や予防のための健康習慣を学ぶ本のほか、闘病記・体験記も一緒に展示しております。



ずっとそばにいるよ
〜天使になった航平〜
横幕真紀/著
916/ヨコ
ゆいぽおと

4歳で急性骨髄性白血病を発症。2歳の弟から骨髄移植し、笑顔で病気に立ち向かって逝った航平さんと、それを支えた家族、医療スタッフたちの335日間のドキュメント。

著者の横幕真紀さんは、大垣市の方です。

難病と闘う子どもたちとその家族が、笑顔を忘れることなく病気に立ち向かえるようにとの思いから、2005年10月19日、岐阜市民病院小児科において、長期入院を余儀なくされた子どもと親の会「まるつけ会」を発足しました。

京都アニメーション

【展示場所】2階 一般閲覧室

2016年の公開された映画「聲の形」は、「京都アニメーション」によって映像化されました。

大垣市立図書館では、「京都アニメーション」の功績をたたえとともに、犠牲者の冥福、負傷者の回復、京都アニメーションの復興をお祈りし、「京都アニメーション」の関連本を展示しています。



聲の形①～⑦
大今良時/著
726.1/オオ
講談社

小学6年の将也は、転校生の硝子へ無邪気な好奇心を持つが、想いを伝えられない2人はすれ違い、分かり合えないまま硝子は転校してしまう。5年後、高校生になった2人は再会し、今まで距離を置いていた同級生達に会いに行く。

歴史研究室便り

大垣に伝わるむかしばなし
『おあん物語』

39



関ヶ原合戦のとき、大垣城は西軍石田三成の本拠となりました。慶長五年（一六〇〇）九月十四日夜、三成が大垣城を去り、関ヶ原へ向かうと東軍は大垣城を攻撃しました。城内の武將で東軍に内応するものがいたため、留守を務めた福原長堯（ふくはらながたか）の奮戦もむなしく、二十三日、ついに城を明け渡すこととなりました。

『おあん物語』は、石田三成の家臣山田去暦（やまだきよれき）の娘おあんが、老後に語った大垣籠城戦（ろうじょうせん）の思い出話を記したものです。その一部をご紹介します。

家中かちゅつこの妻や娘は、天守で鉄砲玉をつくったり、お歯黒首は値打ちがあるというので、味方が討ちとった首に、お歯黒を塗ったりしていました。

城の明け渡しが始まったころ、父がひそかに天守へ来てくれました。母と私を連れ出し、北の塀脇からはしごをかけ、つりなわで下へおりて、たらいに乗って堀を渡りました。脱出したあとは、青野ヶ原に落ちのびていきました。

出典…『大垣むかし話100話』
大垣市企画広報課・編
『大垣むかし話100話』は、大垣市電子図書館でも読むことができます。